

## 海と山のカラブリア

クリスティーナ テェルミナーラ

カラブリアは南のイタリアの州である。三つの側を海に囲まれて北はバジリカータ州に隣接する。人口は200万に達して、州都はカタンザーロである。丘と山は一部分の地を占めるけど、小さい平原は海岸に沿って広がっている。

気候はとても違って、海岸は温和であるがイタリアを南北に山脈のアッペニン山脈は、アルプスの気候のように冬が長くてさむい。

歴史については気元前六・五世紀にギリシア人がカラブリアの海岸に着いて、レッジョやクロトーネやロクリやシッラなどの立派な町を建設した。その後、相次いでローマ人、ビザンティン人、アラビア人、スペイン人が支配した。

海は主要な観光資源である。工業と大きな町があまり発展していないため海は昔のようにきれいである。そのためカラブリアは今日まで自然の天国と言われている。

トロペアやシッラのような有名な海岸の場所の外は、後背地は歴史と芸術と伝統に恵まれている。それで、海が好きな人は私が20年間ぐらい住んでいた小さい町のソヴェラートを見逃せない。青い海の美しさのためイオニア海の真珠と呼ばれている。夏の晩は暑すぎる時海岸に沿って伸びる海岸通りを散歩することができる。“レッジョ市の海岸通りはイタリアの一番きれいな通りだ。”と言ったイタリアの小説家のダンヌンツィオの意見に私はあまり賛成でわない！

山が好きな人はとても面白い山村もある。観光客だったらマンクソの村とカミリアテッロもぜひ行くといい。この場所は夏になると涼しい、冬になるといろいろなスキーの設備のおかげで本当に楽しい。

最後によい気候のおかげでかんきつるいの木とオリーブの木がとても多い。特産物ではオリーブの油とレモン味の強い酒、リモンテッロ酒があげられる。しかし一番の特産物は辛いソーセジである。